

低空エアリアルユニット「窓」

布の街のアンデルセン



荒川区を舞台に、サーカスで描く町の童話。
地上から少しだけ浮かびあがったサーカスのパフォーマンズのユニット「窓」による新作公演。
「布の街日暮里」や「団子坂」の景色に見えた不思議な出来事を、皆様にもひっそりとお話します。

2026年1月24日(土) 開演 15:00 開場 14:30

会場：ムーブ町屋 ムーブホール

- ・東京メトロ千代田線 町屋駅
- ・京成線町屋駅
- ・都電荒川線町屋駅前停留所 各駅徒歩1分



チケット：【全席自由】

一般 2,000円

ACC友の会会員 1,500円

18歳以下 500円

※未就学児は膝上鑑賞に限り無料

お取り扱い

● 町屋文化センター ☎03-3802-7111

(販売時間9:00~17:30/休館日を除く)

● ACCチケット購入サイト

<https://piagettii.s2.e-get.jp/accarakawa/pt/>

※電話予約については、ACC友の会現金・ロ协会会员のみ受付しております

● Teket

<https://forms.gle/QRVPfy517yDyJnPh6>

出演：名取萌音・笹尾麻衣(低空エアリアルユニット「窓」) / 望月由美
美術：池田 祥



Teket



ACCチケットサイト

主催：低空エアリアルユニット「窓」 / 共催：ACC(公財)荒川区芸術文化振興財団、荒川区
あらかわ文化イベント企画応援プロジェクト2025支援事業
お問合せ：mado.aerial@gmail.com (低空エアリアルユニット「窓」)

低空エアリアルユニット「窓」

布の街のアンデルセン

—荒川区を舞台に、サーカスで描く町の童話—

出演者プロフィール

低空エアリアルユニット「窓」(まど)

名取萌音・笹尾麻衣によるパフォーマンスユニット。身近な場所を別の窓からのぞくように、日常の中に物語をベースとしたサーカス的パフォーマンスを展開する。2014年にAADPエアリアルパフォーマー養成所を共に卒業。品川プリンスホテル主催Memorial Countdown Night「AQUA FANTASY 2016」等で共演。2022年に低空エアリアルパフォーマンスユニット「窓」を結成。ひらしん平塚文化芸術ホール「舞台技術ワークショップ」等に出演。さいたま国際芸術祭 2023 公募プログラム、Baobab DANCE×Scrum!!!2024、Mirai Circus Network 現代サーカスショーケース 2024出展。



名取 萌音 (なとり・もね)

エアリアルパフォーマー、サーカスアーティスト、舞台制作者。東京藝術大学音楽環境創造科・同大学院で舞台演出を学び、在学中にAADPのエアリアルパフォーマー養成所を修了。フランスで本格的な現代サーカスに出会う。

帰国後舞台芸術祭のプログラム制作、広報、教育普及事業制作をつとめ、現在はフリーの舞台制作者・現代サーカスアーティスト、ソーシャルサーカストレーナーとして活動中。様々な特性をもつ私たちが“よく生きる”ためのサーカスをテーマに作品制作を行う。



笹尾 麻衣 (ささお・まい)

エアリアルパフォーマー
アーティスティックシンクロスイマー
幼少期に水泳を始め、その後競泳を経て小谷実可子氏のアーティスティックシンクロに出会う。発表会や外部イベントに出演する中で表現することの楽しさを知り、様々なジャンルの舞台を見て興味を持ったエアリアルの世界に飛び込む。AADPの養成所を修了し、エアリアルパフォーマンスやアーティスティックシンクロでイベントやテーマパークのパレードなどに出演。水中と空中...あとは陸!と、近年はコンテンポラリーダンスに挑戦中。

しさを知り、様々なジャンルの舞台を見て興味を持ったエアリアルの世界に飛び込む。AADPの養成所を修了し、エアリアルパフォーマンスやアーティスティックシンクロでイベントやテーマパークのパレードなどに出演。水中と空中...あとは陸!と、近年はコンテンポラリーダンスに挑戦中。

ゲスト



望月 由美 (もちづき・ゆみ)

エアリアルパフォーマー。サーカスで見たエアリアルの中での自由な動きに魅了され、AADPエアリアルパフォーマー養成所で学ぶ。卒業後よりショーやイベントに参加。小谷実可子プロデュース「MEMORIAL COUNTDOWN NIGHT AQUA FANTASY (2015〜2016)」やサンリオピューロランド「ミラクルギフトパレード」、大型音楽フェス「GMO SONIC」にも出演。薬剤師として働きながら、フリーランスのエアリアルパフォーマーとして活動中。



池田 祥 (いけだ・さち)

子どもアート講師、美術教育研究者。

東京藝術大学でアートイベント運営などを学び、卒業後子ども美術教室の講師を務める。フランスへの移住をきっかけに教室の運営形態をオンライン、そしてマンツーマンスタイルへと移行。コロナ禍を経て発達障害児支援団体や、自治体等のオンラインアートプログラムの作成も請け負う。現在ケアとしてのアート対話をテーマに、東京藝術大学美術教育研究室での美術教育研究も行なっている。

主催：低空エアリアルユニット「窓」／ 共催：ACC(公財)荒川区芸術文化振興財団、荒川区
あらかわ文化イベント企画応援プロジェクト2025支援事業
お問合せ：mado.aerial@gmail.com (低空エアリアルユニット「窓」)

